

## 平成 28 年度後期 規範意識に関する学生との意見交換会実施内容

### 【学生の主な意見】

#### 「飲酒運転について」

- ① 飲酒運転の原因と広島大学の対策・現状
  - ・ 家から飲食店が遠い。
  - ・ 公共交通機関が少ない。
  - ・ 互いに注意ができていない。
  - ・ 罪の意識が浸透していない。見つからなければ大丈夫という安易な考え、意識が希薄。
  - ・ 大学の対策を知らない、知っていても、「自分のこと」として考えていない。
  - ・ メールでの注意喚起はみんな知っているが、それ以外は知られていない。
  - ・ 自転車は、飲酒運転しても大丈夫だと思ってしまう。
  - ・ 酒で気が大きくなり、自分は大丈夫だと思ってしまう。
  - ・ 学生生活で、お酒が身近すぎる。
- ② 飲酒運転防止の対策
  - ・ 交通安全講習会を自動車以外の学生にも受けさせる。原付利用者も強制にする。
  - ・ 授業や意見交換会へ強制的に参加させ、徹底する。
  - ・ 意見交換会を核にして、周囲に広げていく。
  - ・ 先輩から注意する、教室に警告等を貼る（メールは見ない人がいる）。
  - ・ 大学が予約制のリムジンバスを走らせる、（地域と連携して）交通機関を充実させる。
  - ・ タクシーの学割制度をつくる。
  - ・ 罪の重さを知らせる。学生証にヒント（罰則）を記載する。
  - ・ 歩いて行ける近くの店を選ぶ。
  - ・ 指導教員やチューター教員など、先生から直接、指導してもらう。
  - ・ 大学が提携している居酒屋で、徒歩で来た人の人数を数え、一人 1 ポイントとして、次回利用時にそのポイントで割引をする。

## 「未成年者飲酒，飲酒強要について」

### ① 原因と大学の対策・現状

- ・ もみじ Top への注意喚起やポスター掲示は，学生の意識がそもそも低いので，学生の目に留まらない。
- ・ お酒の怖さを知らない。
- ・ 飲ませる人が酔っていて未成年者や飲酒強要の意識がない。
- ・ オリエンテーションキャンプを盛り上げるために，必要になっている。
- ・ 人間関係を円滑にする。仲間づくりのきっかけになっている。
- ・ 周りの空気がそうさせている。
- ・ みんな飲んでいるから，自分もいいだろうとってしまう。

### ② 未成年者飲酒，飲酒強要の対策

- ・ オリエンテーションキャンプの班長を選出する際に，未成年者飲酒や飲酒強要禁止の意識をしっかりと持った人を選ぶ。
- ・ My もみじの掲示は，自分のスマホへ通知が来るよう設定ができるので，これを必須にする。
- ・ 学生自ら，アルコールパッチを継続して受け，飲めない場合は数値でアピールする。
- ・ 未成年者飲酒や飲酒強要で亡くなられた方の遺族に講演をお願いする。事故の悲惨さを伝える。（知識と共に，ある程度のショックを受けることで学生に響く。）
- ・ 店が年齢確認を行う。
- ・ 学生の目に付くチラシを作る（学生生活の手引きは見ない）。
- ・ 大学は，きちんと処罰し，意識を植える。講習会等で実際の事例を伝える。
- ・ 上下関係に慣れると強要が起りやすいので，メール等で意識調査を行う。
- ・ ステッカーを作成する。
- ・ 未成年の学生は，学生証の色を変える。
- ・ 個人あてにメールで禁止を呼びかけるのが一番伝わる。
- ・ お酒がなくて盛り上がるよう，イベント会場を大学が提供する。
- ・ 学生は，お酒のあるなしに関係なく，コミュニケーション力を磨く。そのために意見交換会に積極的に参加する。
- ・ 意見交換会のような，規範意識向上の機会を増やす。
- ・ 毎年，強制参加の講習会を開催する。

## 「自転車の盗難、自転車のマナーについて」

- ① 自転車盗難・自転車マナーが悪い原因
  - ・ 二重ロックをしていない、授業に間に合わず未施錠。
  - ・ ちょっと借りるだけと、軽い気持ち（罪の意識がない）。
  - ・ 放置自転車なら、盗っても構わないという意識がある。
  - ・ 駐輪場のラインが消えかかっている、どこまでが駐輪場か分からない。整然としていないことが当たり前になっている。
- ② 自転車盗難防止対策
  - ・ 鍵をかけるよう注意喚起する。
- ③ 自転車のマナー対策
  - ・ トラブルがあった時には、様々な対応が必要になることを事前に理解しておく。
  - ・ 自転車を安全に乗ることも大事だが、万一の事故に備えることも大事だと認識する。
  - ・ 駐輪場を増やす。
  - ・ 授業の場所を一か所にまとまらないよう配慮する。
  - ・ 自転車登録制を導入する。
  - ・ 構内に自転車専用道を設ける。
  - ・ 駐輪場の場所や時間を限定する。
  - ・ 朝の授業開始前は、自転車を優先し、キャンパス内の一部を自動車通行止めにする。
  - ・ 駐輪場を確保するため、大学は、放置自転車をもっと積極的に回収する。
  - ・ 駐輪場のラインをもっと目立たせる。

## 「公共施設利用上のマナーについて」

- ① 大学生における公共施設利用上のマナー問題
  - ・ ゴミ問題（キャンパス内、学生マンション周辺）
  - ・ タバコの吸い殻
  - ・ 放置自転車
  - ・ 騒音
  - ・ スマホの使い方
  - ・ 施設にたむろ、席取り
- ② 対応策
  - ・ 喫煙場所の掲示
  - ・ 新入生にゴミの分別方法などを教示
  - ・ 放置自転車禁止ポスターの掲示
  - ・ Myもみじへの注意喚起を個人掲示で行う。
  - ・ ゴミ問題について、学生マンションの管理人に、学生から訴える。
  - ・ 西2食堂の「スピードコーナー」のような注意文を、学生がたむろする場所（ゆめタウンフードコート）にも行う。
  - ・ 学内のフリースペースを増やす（フリースペースに空調を！）
  - ・ 花火やバーベキューを学内でもっと簡単にできるようにする。

## 「SNSの利用上のルールについて」

### ① 現状・原因と大学の対策

- ・ 見られているという意識の低さ，世界中に見られているという意識が足りない。
- ・ SNSに対する認識の甘さがある。責任意識の低さがある。  
(こんなに拡散すると思っていなかった，身内に対してのみ発信しているつもりだった)
- ・ SNSの仕組み，危険性を分かっていない。
- ・ 不満のはけ口や人との関わり合いを求めているのではないか。相談できる「窓口」がない。
- ・ 大学が罰則等，注意喚起を行っているが，届いていない，どんな罰則があるのか知らない。
- ・ もみじでの注意喚起などが学生の目に入っていない。浸透率が低い。

### ② なぜ行うのか

- ・ 危機感の不足（スマホを一人1台持っているが，喋るのと同じ感覚で載せている。）
- ・ 想像力と責任感の不足
- ・ プライバシーモードなど，機能を活用していない。
- ・ 情報が溢れすぎて，意識が薄れている。

### ③ 対策

- ・ 情報の授業等（全学共通，学部集会，コースやゼミ単位）で，教養の講義で，SNSの仕組みやモラルを必修で教える。
- ・ どんな影響があるのか（あったのか），具体的にリアルな内容を伝える。デメリットの事例も共有する。
- ・ メディアの授業を1年生のみでなく，学年の節目に学ぶ機会を設ける，冊子体を毎年配る。
- ・ 「発言の前に考えよう！」のステッカーを作成し，配る。
- ・ 教養ゼミなどで，もっと身近な，具体的な事例を取り上げたSNSに関する授業を実施する。少人数のクラスで行う方が分かりやすい。例えば，自分のツイッターをゼミの人に見てもらい，注意し合うこともできるのではないかな。
- ・ 学生に直接メールで注意喚起を行う。
- ・ 所属学部の教員（チューター，ゼミ長）など，学生に近い教員が学生に注意喚起を行う。
- ・ コミュニティでの連帯責任とし，問題が起こった際には活動停止とする。
- ・ 必要な情報を見落とすことがないように，Myもみじの掲示へ，学生が優先順位をつけられるようにする。
- ・ 入学者全員に強制的にSNSモラル教育のガイダンスを受けさせる。
- ・ ツイッターやフェイスブック，インスタグラムなど，用途に応じた使い分けができるよう，大学が使い方を例示するガイドラインを作成する。
- ・ 学生自らが，事例を取り上げ，その結果や過程について話し合い，問題意識の向上につなげる。← 学生一人一人に周知されることが大切である。
- ・ 学内に問題を報告できる機関（窓口）を作る。← 小さな問題でも，報告することで，次なる注意喚起ができる。
- ・ チューター制度を活用する。← 学生生活の不満が問題行動につながっているのではないかな。制度を活用し，教員と学生との関係が良いものになれば，問題行動が減る。
- ・ 学生が，オリエンテーションキャンプの班単位で話し合い，情報を共有する。実施結果を大学へ報告する。
- ・ オリエンテーションキャンプのリーダーを対象にSNSの使い方について講習会を開き，その内容をリーダーから直接伝える。

### 【意見交換会実施の効果】

- ・各学部等が中心となって実施したことで、学生が主体的に考え、活発な意見交換が行われた。
- ・そのことがなぜ悪いことなのか（原因や影響について）を十分に考えさせることができたため、参加した学生への教育的効果が期待できる。また、参加学生を通じて周囲の学生に伝えるなどの波及効果が期待できる。（身近な人からの意見は受け入れられやすい。）
- ・学生の立場から提案してもらえたので、効果的な対策であり、引き続き、可能なものから実施する予定である。
- ・学生の実態を知ることができた。SNSに関して、学生が意外と知らないことが分かった。

### 【意見交換会を受けて実施した対策（予定を含む）】

- ・近隣の飲食店へポスター（飲酒運転禁止、未成年者飲酒禁止、飲酒強要禁止）を郵送し、掲示依頼
- ・学生懲戒処分の告知について、より学生に周知させるよう方法等検討する
- ・現在ある情報活用の授業にSNS関連ももっと盛り込んでもらうよう関係部署へ依頼する
- ・学生へ注意喚起の一斉メールを送信する際に学生が興味を持つような件名に工夫（継続）
- ・学生への注意喚起を指導教員やチューター教員から直接行うことを依頼（継続）
- ・SNSの問題など、学生が気軽に相談できる窓口の設置を検討する
- ・継続して、キャンパス内駐輪場の整備を関係部署へ依頼する
- ・自転車登録制の導入を検討する
- ・卒業予定者向け（在学生も含む）に不用自転車の無料回収を継続して実施する
- ・放置自転車の処分手続きの短縮化を検討する
- ・SNS利用など、モラル教育について関係部署へ導入を検討依頼する